



令和6年1月18日

NO. 19

1.17 集会 石川県に思いを馳せる

去る1月17日(水)、阪神淡路大震災から29年目の1.17集会をオンラインで実施しました。震災の記憶を風化させない、震災の教訓を今後の防災、減災に生かすという目的で、兵庫県内の学校で続けてきた取り組みです。

当日は、まず、阪神淡路大震災と能登半島地震で犠牲になった方のご冥福と今なお避難生活を送っておられる方へのお見舞いの気持ちを込めて黙祷をささげました。



私からは、対策グッズを3つ紹介しました。1つ目は、懐中電灯です。いきなり停電とい



うこともありますので、リビングや寝室など、暗くなっても手に取れる所に置いておくとういでしょう。2つめは、ホイッスルです。今回の地震でも、壊れた建物の中から救出された人が多くありました。少ない息で大きな音の出るホイッスルを携帯すると安心です。3つ目は、寝室に靴を置くことです。窓や戸棚などのガラスが割れて、足元が危険になる可能性がありますので、安全に非難するため、すぐに履ける準備が重要です。

実は、これらのことは、神戸で被災された元消防士の方から教わりました。現場での経験を基にしたアドバイスでしたので、取り入れられることは実践しています。



子どもたちに紹介しようと思い、久しぶりに避難用リュックの中身を点検してみました。すると2つ用意したリュックのうちの1つが、チャックが開かなくなっていました。取り換えが必要です。また、非常食の賞味期限が切れていたり、足りないものがあることに気づきました。

子どもたちには「おうちの避難用リュックを確かめてみよう」と呼びかけました。ぜひ一度、非難の仕方や連絡先などを含めて、ご家族で話し合ってみてください。

被災された地域の1日も早い復興を心から祈念します。